

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2007.12.10
No.956

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

学んでつかもう
希望ある未来

08年 勤労者通信大学
受講生募集中 県本部まで



安心してらせる地域医療を

シンポジウムでは、はじめに東三河小児科医会の佐々木先生が報告。小児科医療は危機的状況。医師の大学への引き上げで、小児科医師は不足し、愛知は全国の水準より1割少なく、東三河はさらに2割少ない。基幹病院には軽症患者が集中し、二次・三次医療

救急搬送も 2時間かけて

に集中できなくなっている。また、7つの基幹病院の内、2病院は時間外と入院加療病床を閉鎖し、新生児病床では4つの病院が0に。時間外小児救急に対応できるのは5つの病院だけで、新生児医療に対応できるのはわずか3病院にしか過ぎず、北設楽郡から豊川・豊橋市まで搬送するのに2〜3時間かかる。解決に向けては、小児救急や新生児医療の集約化はさけられず、県や国の施策として対



新城の中心で
医師無料職業紹介事業（ドクターバンク）や職場復帰

応ずる、時間外体制の整備と住民の利用にあつての適正化・啓蒙活動の充実、などが出されました。つづいて、東三河の地域医療と題して愛知県医務国保課の植羅主査が、医師不足のため診療制限している病院が県内で62病院。県として医師確保対策として、医師無料職業紹介事業（ドクターバンク）や職場復帰

東三河地域の住民のいのち・健康を守る

新城市職労・東三地区協などがシンポジウム開催

を応援する現場研修補助事業、院内保育所運営費補助などを実施。また病院勤務医の負担軽減として診療報酬の見直しや産科の無過失補償制度の整備、大学入学定員の増などが、国・県の対策としても検討されているとしました。

津具地区在住の元保健師・駒田さんは、高齢化率が43%に達しており、三河山間部の医療要求は切実。救急車が走っていくのを我が身のことのように辛く見

急の整備は深刻と訴えました。考えるだけでなく、国・県に声とどけよう。フロアー発言では、「蒲郡市民では診療制限しなればならない状況。ドクターも80時間以上残業している。医師確保の責任は国にあるが、県も力を、尾陽病院労組から参加した見田書記長は、尾陽でも先週、住民参加の地域医療を考え、懇談会を開催した。医師確保と地域医療を守るネットを一緒に広げたい」とエール交換。ある住民からは「昼食もとらずに診察や検査結果の診断と、朝から追



われている女医さんを見た。こんなことでまともな医療ができるとは思えない。医者がはたらき続けられる人員、職場環境を作ることも大切、新城市職の仲間からは「住民のための病院を守るために、可能な限りの声を上げていきたい」、看護師からは「市民に、病院の実態を知らせていくことの大切さを知った。住民の日々の健康管理や子育て支援、孫育て支援など運動もすすめてほしい」などの発言が出されました。パネラーから「考えるだけでなく、国・県に声を届けることが大切」「医師不足は国も分かっているはずであり、県としても期待に込める」「今日の一步を新しい一歩として、ささえあい、運動をすすめてよ」とまとめられました。最後に主催者からは、今日の到達点はスタート地点であり、これからも声を上げ運動をつくらうと決意のべられました。

医師の確保は切実

新城市市民病院の医師不足は深刻。その影響で閉鎖されたままの病棟（中央）と消された「救急入り口」の看板（下）

東三河地域の医療圏には7つの基幹病院がある



- 新城市市民病院
- 豊川市民病院
- 蒲郡市民病院
- 豊橋市民病院
- 成田記念病院
- 豊橋医療センター
- 厚生連渥美病院



より身近な生活法律相談へ 自治労連愛知弁護士総会



自治労連
愛知弁護士
総会が12月
5日、アイ

リス愛知で開催されまし
た。組合員の仕事や生活
で生じる、様々な法律上
の問題を解決するため、

自治労連愛
知県本部は
弁護士と顧
問契約を結
び、組合員
の生活法律
相談をサポ
ートしてい
ます。こう
した活動を

充実させるために、年1
回総会を開いて懇談と改
善の話しあいをすすめて
います。今回は同時に、
職場に広がる、人事評価
システムの問題点と対策
について学ぼうと、明治
大学の黒田先生を招いて
学習をしました。この中
で、「公務労働には成果
主義はなじまない。公務
には『利潤』という物差
はなく、利潤基準の『効
率』は不要で不可能」と

明らかにされました。ま
た、「評価制度は何のた
めの評価なのか問われ
るべき」とのべ、具体的
な人事考査制度の
チェックポイントが示さ
れました。なお、総会で
は、引き続き県内32カ所
の弁護士事務所と契約を
結び、組合員の生活法律
相談活動の充実を図って
行くことを確認しまし
た。利用方法は、組合
役員まで。

地域手当の削減ゆるさん

生活改善へねばり強く交渉

確定最終盤



賃金確定闘争の大きな山
場を迎えた11月下旬から12
月にかけて、地域手当の国基
準への押しつけに反対し
て、各単組の奮闘がつづい
ています。しかし、交付税
削減の影響が大きい、豊橋、
犬山、岩倉、瀬戸では、22
年4月からの国基準への条
例改正に当局は固執してい
ます。

県本部は12月4日、総務

省による財政制裁をテコに
した国基準の押しを許さな
いため、県市町村課に対し
「①不当な介入を行うな
②特別交付税の具体的な削
減内容を明らかにせよ。③
県市町村課は、県下市町村
を守る防波堤の立場に立
て、などの、緊急申し入れ
を行いました。これに対し
て県市町村課は「介入はし
ていない。あくまでも助言
という立場で、事務的なス
ケジュールをお伝えした」
と、不当な態度に終始。同
日の犬山の交渉では、「国
基準に合わせたい」と固執
して何の改善策も示さない
当局に対し、「地域手当を
含め現行賃金水準の維持改
善につながるよう、求める
組合と平行線のまま、深夜
に及びました。その結果①
当局は、地方自治を守り、
労使合意で進める立場であ
る。②当局は、使用者とし
て職員の生活を向上させて
いく責任がある。③これま
での労使交渉で合意できる



「格差社会と地方自治」
を考える学習交流会が開催
され、70名が参加しました。
これは、自治労連のほか愛
労連や愛商連、新婦人など
8団体が共同して開催した
ものです。
神戸女学院大学教授の石

なぜ政治は貧困を止めないのか 「格差社会と地方自治を考える」集会

回答が示されていない。引
き続き、現行水準の維持改
善につながるよう、継続し
て労使協議をしていくこと
を文書確認しました。5
日に行われた岩倉でも、犬
山と同様に当局は「22年4

月から国基準にあわせた
い」との姿勢に固執し、何
の改善策も示さない態度に
終始。組合は、引き続き継
続交渉として、組合員の生
活と権利を守る立場から奮
闘を表明しています。

ツボの話
**寒い季節は
足裏を刺激**

寒さが腎臓や骨を痛め 始まりです。ですから、
季節です。腎臓に關係 足裏への刺激が冬の大切
する経路は、足の裏から 養生法の一つです。ち
なみに足の裏
は「第一の心
臓」ともいわ
れます。
お風呂に
入った時に足

師・直子
鍼灸師
伊藤

の指を押したりもんだり
する、足の指の間を開く
ようにするなどの刺激法
がありますが、お勧めは
「竹踏み」。
冬は冷え性に苦しむ人
が増えます。全身の血液
の流れが悪くなっている
ことが原因で、足の裏を
刺激すると、下半身に血
液をよぶことができま
す。就寝前に竹を踏むと、
不眠の解決にもなります。

その後、「青年労働者の
実態」を報告した民青同盟
の方から、29歳の広告デザ
イナーは残業が130時
間、産休制度がないと言わ
れた、など過酷な実態を報
告。各自治体でも、成人式
で「働く権利パンフ」を配
布したり、労働相談の窓口
をおいてほしい、と訴えま
した。また「窓口から見た
社会保険事務所の現状につ
いて」を全厚生が報告。残
業代は1人10時間が上限
で、夏の一時金の返上も強
調しました。

勤務地は名古屋 地域手当は幸田?

幸田は、県の町村会長
を務めており、その慣例
で来年度から職員を派遣
することになっていま
す。しかし、勤務地が名
古屋であっても地域手当
は派遣元の幸田の規程に
なります。組合では、勤
務地を基準にするよう要

職場・地域から「リアルカルト」 求めています。

なごや介護福祉労は、
臨時・非常勤リーフを
使ったアンケートを実
施。「パートサービス責
任者というだけで、囁託
と何ら変わらない仕事。
1日30分退社時間が早い
だけで一時金はなく夏休

みもありません。改善を
望みます。」「土日の電話
当番でも16時30分あり
で、ペアになる相手の方
毛気にされている。17時
なら一緒に後片付けもで
きるのに」など切実な声
が届けられています。

**来年の全国
母親大会へ**
12月2日、県本部女性
部の提案を受け尾東地区
協で学習交流会を長久手
町の役場で行いました。
参加者は瀬戸、春日井、
長久手から25名が集まり
社保協事務局長の加藤留
美子さんから「後期高齢
者医療制度と社会保障」
の話聞き、来年開かれ
る日本母親大会やそれぞ
れの単組からの活動交流
をしました。